

科目名	里山里海体験実習 in 能登半島			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	決まり次第 HP に掲載			
	英文科目名	Field Excursion to SATOYAMA and SATOUMI in Noto Peninsula		モバイル配信授業 —	開講時間	決まり次第 HP に掲載			
	担当教員	伊藤 浩二（外1名）		eラーニング —	開講場所	能登半島の各地			
受講定員等	単位数 1単位 定員数 25名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 抽選				成績評価の方法	事前講義およびガイダンス、実習への出席が必須です。実習参加の状況、レポートを総合判断します。			
	5名								
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）			科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	5,000円
科目の内容	能登半島は豊かな自然と伝統文化に恵まれており、2011年6月には『能登の里山里海』が国連食糧農業機関（UNU/FAO）が認定する「世界農業遺産」（Globally Important Agricultural Heritage Systems, GIAHS）に認定されました。しかし、農林水産業の不振、過疎・高齢化の急速な進行によって里山里海が荒廃しつつあり、地域社会の維持すら困難になりつつあります。一方、地域住民、企業、自治体は、能登の豊かな地域資源である「里山里海」を活かし、自然共生・環境配慮型の地域再生をめざしています。 本実習は、1泊2日で能登半島にある金沢大学「能登学舎」（廃校になった珠洲市の小学校を再利用した教育研究拠点施設）、農山漁村を舞台にした新しい観光や、環境配慮型の農林業、里山里海を活用した地域活動を行っている集落などを訪問します。 これらを通して（1）里山里海に直接触れるとともに、（2）能登半島の里山の歴史の変遷、現状と問題点、今後の方向性等に関する講義を受け、（3）参加者、講師、地域の方々が一緒になったディスカッションを行います。							その他特記事項	
								例年、5月に講義を、6～7月の間のいずれかの週末に実習をおこないます。宿泊等にかかる実費負担が別途必要です（6千円程度を予定）。具体的な期日はコンソーシアム事務局までお問い合わせいただくか、あるいは事前講義・ガイダンス時にお知らせします。長靴を準備して下さい。	
授業担当教員紹介			URL	http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/meister/					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	k-itou@staff.kanazawa-u.ac.jp					